



おすすめの本

「めろんさんごっこいくの?」

「めろんさんがね・・・」

童心社

とよた かずひこ／さく・え

お店にならんでいためろんさんが、お外に出掛けることに。すると、ねこさん、いぬさんもやってきて、めろんさんをめろんごろんごろんところがります。坂道をころがって、ごうんと飛び上がったも「しんぱいごむよう!」めろんさんが向かったところまで、できあがったものは?」



美術館に行ってみよう!
「美術館のひみつ 展覧会の準備・開催から学芸員の仕事まで」

PHP研究所

お知らせとお願い

図書館では、課題図書や自由研究のコーナーを設けています。また、夏休み期間中(図書館の開館日のみ)は、学習室を開設していますので、お気軽にご利用ください。

8月31日(金)は、館内整理日のため、休館になります。

草薙 奈津子／監修



この本は、美術館の主な役割として、資料収集・保管、作品の展示やそこで働く人々、作品を守る設備など、裏側の重要なことまで写真とイラストで紹介してあります。

一生懸命はカッコいい

「力がなければ頭を使え 広商野球74の法則」

ベースボール・マガジン社

迫田 穆成・田尻 賢吾／著

かつて、広島商の選手、監督、ある時は解説者として約60年間高校野球に携わり続け、今も如水館高校で指導者を続ける迫田穆成監督。夏の全国高校野球選手権が、100回の記念大会を迎える節目の年に迫田監督が、大事なことを思い起こさせ、頭を使え、力をなければ、1冊です。



ヘルプマーク・ヘルプカードの配布について

愛知県では、平成27年12月制定の、愛知県障害者差別解消推進条例に基づき、障がいのある方が生活を送る上での社会的障壁の除去に向けた環境整備を進めています。その一環として県内一斉にヘルプマークの配布を開始します。

また、本村独自で作成したヘルプカードもあわせて配布いたします。

ヘルプマークとは

義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが、外見からわかりにくい方々が周囲に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、東京都が作成したマークです。ヘルプマークにはストラップがついていますが、カバンなどにつけて使用していただけます。



ヘルプカードとは

援助や配慮が必要な方が携帯し、災害時や緊急時、日常の場面で困った時に、周囲の人に援助や配慮を求めるきっかけを作るカードです。



●配布場所

すこやかセンター内福祉課窓口

●対象

援助や配慮が必要な方であれば、ご希望の方に無償で配布します。※障害者手帳の有無等は問いません。※数に限りがあるため、1人1つまでの配布となることをご了承ください。

●問合せ先

すこやかセンター内福祉課